

## 知事就任後2年間の取組に関する意見交換会

日時：平成28年10月30日（日）午後2時～4時

場所：滋賀県知事公館・ゲストルーム

### 1 知事挨拶

- ・本日は何かとお忙しいところお越しいただき、また、日頃は県政モニターとして御協力いただき、感謝申し上げます。
- ・三日月という名前は本名。生まれは京都であるが育ちは大津。知事として2年4か月が経過したが、滋賀のために尽力し、使命感と緊張感を持って活動に邁進してまいりたい。
- ・昨日は長浜で日本の祭りのイベントに参加し、今日の午前は今津にて約120名参加による原子力防災訓練に参加してきた。
- ・知事になって2年少しで、知事としての感想は、ますます滋賀のことを好きになっている。滋賀の魅力にますます惹き込まれている。
- ・若干情緒的な言い方になるが、（滋賀の方々）総じて他人のことを考えてくださる。そして、未来のことを考えてくださる。人間以外の生き物のことも考えてくださる。これらは心が優しい、周りのことを見ることができているから。このような力を大事にしていきたい。

### 2 意見交換

#### （1）交通政策について

県政モニター）

- ・国道161号線は、原子力災害の際に避難道路としては脆弱ではないか。また、湖西に地震が発生したときに使えるのか、また、港も液状化現象で使えない可能性もある。この点につき県の考え方を伺いたい。
- ・交通に関して、他府県に比べて道路のインフラ整備が足りないのではないかと思います。
- ・湖西は何かあったときに怖い。風が吹いたらすぐJRが止まる。その際に道路にすべてが集中する。そういうところが心配である。
- ・もっと琵琶湖を自転車で走ってもらうための道路づくりを進めてほしい。

知事）

- ・国道161号は確かに重要、そしてインフラが不十分なのは同感。車線も少ない。国道は国の事業だが、早期に進めていただくようお願いしたい。
- ・県全体でみると、国道1号および8号はもっと交通が多いので、こちらのバイパスに予算をとられるが、坂本から琵琶湖大橋までのところは何とかまず二車線にして、北小松拡幅まで進めていきたい。

- ・同時に危険個所の是正、また、子どもたちが安全に通学できるように通学路には一番力を入れている。近くで危険なところがあれば教えていただきたい。
- ・琵琶湖一周サイクリングは力を入れており、世界に向けて発信しているところ。
- ・課題は安全な走行管理。自転車専用道路は理想だが、その理想を追い求めると数十年はかかる。そこで、歩行者と同じか、車と同じ道路でも矢羽根マークでよいかから自転車が走るという道路を、これからの10年は重点的に整備改善していきたい。
- ・ソフト面でも近隣店舗の協力や、案内表示も重要である。
- ・また、湖西地域に危ない個所が多い。ルートを工夫して琵琶湖沿岸だけではなく山側にルートを移すことも含めて検討したい。
- ・湖西線は風対策をJRに順次進めてもらっている。
- ・湖西線に関して、駅が高架にあるのでバリアフリーも問題。あと駅までのアクセスも課題。ダイヤも不便。JRも湖西線活性化のための協議会を開催しており、私も参加している。こうした問題の改善につなげていきたい。

#### 県政モニター)

- ・自転車が最近怖い。自転車の免許制を導入するなどして、マナーを守ってもらいたい。

#### 知事)

- ・自分の考えでは、むしろ自動車がかつて優先しすぎたのではないかと考えている。これからは歩行者、自転車をもう少し中心に据え、大事にする交通を作っていきたい。
- ・ただ確かに自転車もマナーが悪かったり、無防備だったりするので、議会で条例を作ってもらい、自転車保険を義務化したり、ヘルメット着用に協力してもらおうようにしている。
- ・歩くこと、自転車に乗ってゆっくり移動することにも慮る滋賀の交通を作っていきたい。

#### 県政モニター)

- ・自転車が多い場合、1列だとよいが、2列になったりすると怖い。歩道は草が多く走りにくいので、車道を走る人が多い。見ていて危ないと思うときがある。自転車に乗られる方のマナーの教室などを開催してもらおうとよいのではないかと。

#### 知事)

- ・私も琵琶湖一周した経験上、見ていて危ないというのは同感。
- ・ソフト面として、自転車マナー向上、ハード面では、少し時間はかかるが危ない個所は幅を広げるなどして対策を打っていく。両面で順次進めていきたい。

県政モニター)

- ・私は守山で育ったが、小学校のときは自転車の技術の競技会があった。中学校のときも生徒会が主催して自転車に関する活動があった。息子に聞くと今はない。そういうリテラシーは小さいころから身に着けておくことが大事なのではないのか。競技会などを使うとうまく刷り込みできるのではないか。

知事)

- ・おっしゃったとおり、自転車通学の多い市町では競技会を活用した取組をされていたり、色々な教育をされている。そうした取組について教育委員会でつなげていきたい。

県政モニター)

- ・信楽高原鐵道再開に関してお礼申し上げる。ただ本数が少なかったり利便性がよくなかったり厳しい状況があるので、今後どうなるのか心配になってくる。知事の考えを伺いたい。

知事)

- ・2013年に橋脚が流され、国の支援などを受けて復旧してきた。
- ・いろんなイベントを継続して行ったり、公共交通機関利用促進運動を地道にやっていく。
- ・JRとの連携として、ICOCAを信楽高原鐵道で使えるようになると便利になるのではないかと思う。

県政モニター)

- ・2、3年前に信楽高原鐵道を利用して、とても牧歌的な雰囲気ですべてのようで感動した。上手にアピールしていただきたい。

知事)

- ・近江鐵道も同様に考えている。
- ・今後の高齢化社会にあっては、高齢者の自動車免許返上に関連して、鐵道を安全で乗りやすく残しておく必要があるのではないかと思う。積極的にPRすることと、守るために行うことの両面での活動が必要ではないか。

県政モニター)

- ・琵琶湖大橋に関して、あの道路の活性化が成功すると人の行き来が活性化するし、観光も栄えると思うが、現状は2車線で手渡しの切符で時間がかかる。将来どのようにされるのか、展望をお聞きしたい。

知事)

- ・琵琶湖大橋の存在は重要。出来て 50 年。琵琶湖大橋のおかげで東西の交流ができる。
- ・知事になってすぐに検討しなければならなかったのが料金問題。無料有料に関して様々な意見もある中で、結論としては料金を安くして、その料金を接続する道路に使わせてもらっている。
- ・堅田、守山も大橋の付近の道路が渋滞するので対策を考えている。
- ・もっと大胆に路面電車を走らせることはできないかなど、アイデアとしてはあるが、まだ検討段階ではない。

県政モニター)

- ・車で琵琶湖一周も趣深く、楽しいので、琵琶湖大橋を無料化していただきたい。

知事)

- ・早期にそうなるように、御意見を受け止めたい。ただ、渋滞の解消や橋の安全を確保してほしいといったことをすべてかなえようと思うと、少し安くさせていただく形にしている。
- ・うみのこに最近乗船したが、湖上交通やライトアップも含めて琵琶湖大橋をPRすることも可能性としてあるのではと考えている。

県政モニター)

- ・琵琶湖大橋を通ると、車のタイヤから琵琶湖周航の歌が流れる。

知事)

- ・琵琶湖周航の歌が出来て来年で 100 周年、これもよい素材だと思う。

県政モニター)

- ・北陸新幹線について伺いたい。

知事)

- ・敦賀まで 2022 年に延伸される予定。そこから、一番安く早くつなぐことができる米原ルートが最適と言っている。その他に小浜ルート、舞鶴ルートの 3 つの計画がある。近々国の調査結果が出てくる。その後政治で与党を中心にどうするのかを決める。
- ・北陸新幹線も大事であるが、湖西線、北陸線も重要。並行する在来線は、JR から経営分離され、第 3 セクターになる。これはどの新幹線沿線もそうである。ただ最後は立ち行かなくなる。私は並行在来線を経営分離してまで北陸新幹線を引っ張ってくるのは違うと思う。並行在来線は守ってほしいと JR にお願いしている。

## (2) 教育・文化政策について

### 県政モニター)

- ・ 県立美術館について、場所は好きであるが、彦根から行くと時間がかかる。車でも時間がかかる。また、魅力ある催しが最近行われてない。もう少しよいPRができないか。

### 知事)

- ・ 現在の県立美術館が古くなったので、これから3年かけて新生美術館を作っていく。新生美術館は、世界からも人が呼べるよう、①近現代、②仏教、③アールブリュット、の3本を特徴にして実施設計に入っている。
- ・ アクセスは確かに課題であり、電車やバスを用意できないか検討している。
- ・ 何か仕掛けができないかと考えている。隣に名神高速道路があるので、高速道路から美術作品の一部が見えて興味を引くような仕掛けなどできないか検討している。
- ・ 2年間休館するが、その間に魅力ある催しを考えていくことが大事。

### 県政モニター)

- ・ 県立図書館が、行きたいときに閉館している。ビジネスマンの年代として平日20時や21時まで開館していれば、仕事帰りに行けるのでありがたい。

### 知事)

- ・ 滋賀の県立図書館は、確かに休館日が多いという御指摘をいただいている。
- ・ 図書館を休みの日や夜まで開けようとする、人件費などの費用がかかるが、それに見合うだけの人が来ていただければ一定効果があるといえるかもしれない。そうでない場合は閉館になってしまう。ただ、おっしゃるように、夜も柔軟に開館できるようにする余地はあると思う。

### 県政モニター)

- ・ 車椅子利用者がいるので、駐車場から県立図書館までのアクセスもよくしていただければと思う。石畳の道はデコボコしているのでそうでない方がよいのではないかな。
- ・ 滋賀県には琵琶湖博物館があるが、少しPRが下手なのではないか。福井の恐竜博物館は、近隣の道路に恐竜のモニュメントがあつて、博物館に近づくほどワクワク感が高まる工夫をされていて面白い。
- ・ 県立図書館に関して、週1回、月1回でも夜に開館するようにすれば使いやすい。

### 知事)

- ・ 図書館は、一週間に一回や月に一回だけでも開館時間を延長できないか検討したい。

- ・琵琶湖博物館は、合計3期あるうちの1期目のリニューアルが完成し、バイカルアザラシも来て、久しぶりに早期に並ばないといけないほど人気になった。こういったことも材料にしてPRしている。
- ・ワクワク感が高まる工夫については、湖岸道路に何か設置するのがよいのか、よい案があったら教えていただきたい。京都の鉄道博物館だと導線にモニュメントあって楽しめるようになっている。風景を壊さない程度に何かできないかと思う。

県政モニター)

- ・琵琶湖博物館は、県民だけではなく、県外から来られる方もおられるが、その方々はバスを利用する。ただ、料金が高いのもったいないと思う。

知事)

- ・展示されている内容は、十分研究やレジャーの対象となるもの。京都にあれだけ観光で人が来ているので、こちらへ足を延ばしていただけるよう、もう少しPRできればとは考えている。

県政モニター)

- ・琵琶湖博物館の周辺にモニュメントや花などがあるとよいのではないかと。

知事)

- ・確かに花などは季節の色合いがあってよいと思う。

県政モニター)

- ・美術館や図書館に関して、駅の近くに出張する場所があればよいのではないかと。たとえば大津駅などは、もっと人が集まるのではないかと。

知事)

- ・街の人もこのままではいけないと考えて、色々な取組をしている。大津駅前の平和堂も取り壊されることになり、県庁別館周辺についても、新たな取組を検討している。
- ・大津はまだまだ使える余地がある。ただ、あまり知事だけが津に旗を振ってもよくない。民間との上手い棲み分けが必要。

県政モニター)

- ・大津には古い建物があるので、映画の撮影に使ってもらえるようにしていくことができないかと。

知事)

- ・できると思う。県庁も映画で使用されている。ちはやふるでは近江神宮が使われたりしており、ロケ地になれば活性化するし観光の材料になる。豊郷小学校もよいと思う。

県政モニター)

- ・せっかく古い建物が多く残っているので、少しでも残してほしい。

知事)

- ・おっしゃるとおりであり、それらを残し、守った上で活用し、観光スポットとなるようにできればと考えている。

### (3) 環境政策について

県政モニター)

- ・今年の8月末頃から近江八幡市では、水道水の異臭が問題となった。原因は報道されており、今は解消されていると思うが、私たちが小さいころは、琵琶湖の富栄養化などを学校等で勉強して、皆がよく考えていた。最近は関心が薄れてきているのではないかと思うので、もう少しPRしてもよいのではないか。

知事)

- ・近江八幡市などで、今年の夏の水道水から臭気がする件について、上水道は県で管理しており、対策を実施したが、少し長引いてしまった。決して隠していたわけではないが、おっしゃるように問題をわかりやすくお伝えして、皆さんと一緒に考えることもあってもよいのではないかと思う。
- ・水草や藻が生えて、夏には湖岸でも臭いがすることもあるが、見えない物質や施設の老朽化など、色々なことが問題になっているのかもしれない。

県政モニター)

- ・卒原発ということで、新しいエネルギー源としてソーラー発電が増えているが、将来新たな問題が起こるのではないかと心配している。

知事)

- ・積極的に再生エネルギーを進めることは大事ではあるが、ソーラーパネルが無秩序に広がってしまってもよいのかという問題意識は持っている。景観面や環境面、廃棄のリサイクルなども含めて、太陽光発電のあり方については、進めるばかりではない。固定価格買取制度創設により大量に設置された太陽光パネルについても、きちんと管

理されなければならないと考えている。

県政モニター)

- ・ 卒原発に関して、原発はなくすべきであると思われるが、電気料金の値上がりは痛い。原発をなくすのであれば、電気料金をどうするのが見えてこないか、議論が堂々巡りになってしまうのではないか。

知事)

- ・ 県民の命や琵琶湖の環境を守る責任のある知事としては、今の安全対策のままで原発を使ってくださいという立場には立てない。
- ・ 核廃棄物や事故対策の費用について、本来電源の利用者が負担するものであるとすれば、原発は決して安い電源であるとは言えないと思う。できるだけ使わない仕組みをつくっていく方がよいと思う。
- ・ どこかの知事が言い続けていかないと、国も変わっていかない。

県政モニター)

- ・ 短期的には原発を稼働すれば安い。知事のおっしゃるように事故対策など含めれば高くなるということを、卒原発でPRしないといけないと思う。

知事)

- ・ 原発はどんどん古くなっていくので、廃炉に係る管理や処分でも費用が生じてくる。それをわかりやすく開示したり説明したりすることも求めていきたい。

県政モニター)

- ・ 草津市の烏丸の風車が全然動いていなくてみともない。草津市の所有で知事には直接関係はないと思うが、草津市ができないのであれば、県で買い取ってもらってなんとかならないか。

知事)

- ・ 確かに回っているところを見たことはない。台風の時も回らない。草津市にどうするのか聞いてみたい。

県政モニター)

- ・ 自転車は排気ガスを出さないという点で環境対策であり、健康づくりにもなる。自転車で琵琶湖一周など、体を使う仕組みは素晴らしいと思う。



知事)

- ・自治体だと守山市が熱心であり、自転車に対する購入補助までつくられたのではないか。
- ・米原駅にサイクルステーションをつくった。体一つでピワイチを始められ、これは好評。
- ・すべてを自転車にするのは難しいが、できるだけ車だけではない滋賀をつくっていききたい。
- ・次世代の乗り物はどうなるのか。自動運転、ガソリンを使わない自動車などがある。高速道路であれば、一定速度走行で自動運転は可能なようである。そうなれば、交通の体系は変わってくる。先日アメリカで、Uber を活用したタクシーに乗車した。スマホとドライバーだけで成り立つのであれば、日本の駅前で待つタクシーは変わるかもしれない。

#### (4) 農業政策について

県政モニター)

- ・農産物に関して、知事がPRしているのはよいと思う。ただ、担い手が高齢化しているので将来的にどうなのか。

知事)

- ・滋賀県は農業県。滋賀県の農業政策の柱は2つあり、一つは産業政策として競争力のある農業をつくること、もう一つは地域政策として地域のつながりを保つ農業を守ること。簡単に言うと攻めの農業と守る農業。前者はブランド化や大規模化。みずかがみなどをもっとPRして、農家の方の収入につなげていきたい。また、環境こだわりをもっと追求して、完全無農薬有機をできないか、環境こだわりを進化させられないか検討している。農家の方には、取れる量が半分になってしまうとの声もあるが。
- ・畜産業、野菜、お茶も大事。滋賀はそもそもお茶を作っていたのかと言われないうちに知名度も上げていきたい。

県政モニター)

- ・無農薬は、地域全体で取り組まないとなかなかできない。大きな地域で取り組まれるようにしたらよいのではないか。

知事)

- ・おっしゃるとおり、大きな地域で面的に取り組むのがこれからの農業。世界農業遺産に認定してもらおう取組を始めている。ブランド化により好循環を作っていけるようにしたい。

県政モニター)

- ・農業の担い手の高齢化問題が気がかりである。

知事)

- ・それは重要。平均年齢が70歳になろうとしているのではないか。だから大規模化や担い手を育てていくのが大事。
- ・滋賀県の農業高校や農業大学校についても充実した教育により若者を育てていきたい。一方で、若い人の感性も変わってきており、企業だけではなく農業を選ぶ若い人もいる。そういう人たちを勇気づけられるようにしたい。

県政モニター)

- ・無農薬でやっている人をどのように応援していったらいいのか。

知事)

- ・買うことで、消費者からのメッセージを伝えていくことが大事なのではないか。

県政モニター)

- ・みずかがみもよい取組であるが、これからは健康長寿ということで、自分の健康には投資される。最近あまり炭水化物がよろしくないという話もある。そこで、かなり健康をPRできるような品種の開発などは、農業県として価値があるのではないか。
- ・精米もスーパーなどで身近にできるとよいのではないか。

知事)

- ・確かに精米が身近にできるとよいと思う。
- ・みずかがみは10年かかってできた品種であり、暑さに強い。
- ・ただ、おっしゃるように健康面がこれから重要になってくる。品種改良する人に伝えておく。
- ・地酒も議会で条例を作るなどして力を入れている。地酒をPRすると、米に行き着く。さらに、お酒は器に行き着く。信楽焼も長浜ガラスもよいと。このように広がっていくPRもしていきたい。

県政モニター)

- ・近江八幡の権座で栽培される酒米の渡船もある。熱意が大事ではないか。

知事)

- ・おっしゃるとおり。近江八幡市も応援した。色々な形でPRすると、そこで子どもを

育てようかという人も出てきて好循環が生まれる。権座は好事例だと思う。

- ・東近江や野洲における魚のゆりかご水田米、これも好評。

知事)

- ・意見交換会は、これからも続けていきたいと考えている。

県政モニター)

- ・続けていただいた方がよいと思う。